

「第1回あおもり創生総合戦略有識者会議(令和5年12月21日)」での主な意見等への対応

| No | 項目 | 委員名 | 意見等 | 対応 |
|----|---------|------|---|---|
| 1 | 政策分野1 | 太田委員 | 再生可能エネルギーについて、間伐材など木質資源を使った内容も盛り込むべきではないか。 | 政策分野1「(5)再生可能エネルギーとの共生と環境配慮型ビジネスの推進」の中に、「森林資源などを生かすバイオマス関連産業の県内企業の参入促進」を記載しました。 |
| 2 | 政策分野1 | 丹羽委員 | 観光産業の振興について、サステナブルやフェアトレードという観点を踏まえて展開していくべきではないか。 | 政策分野1「(6)国内外とつながる観光の推進」の中で、あらゆる観光関連産業による付加価値創出を図るとともに、サスティブル等の多様な価値観への対応を促進していくことを記載しました。 |
| 3 | 政策分野1ほか | 田中委員 | DXの推進に関して、推進する内容をわかりやすくするため、各分野にDXに係る取組内容を盛り込むべきではないか。 | DXの推進について、政策分野1では「スマート農林水産業の推進」「県内産業のデジタルインフラの整備促進」「DX推進による観光事業者の経営改善促進」、政策分野2では「枝務のデジタル化」「デジタル技術等を活用した医療業務の省力化」、政策分野3では「質の高い行政サービス提供に向けた行政DX推進」「生活環境の向上に向けた暮らし・まちのDX推進」「デジタル技術を活用した防災分野の関係機関等の連携・協力体制強化」など、各分野にDXに係る取組を記載しました。 |
| 4 | 政策分野1、3 | 太田委員 | 気候変動に対応した取組を盛り込むべきではないか。 | 特に、気候変動の影響を大きく受ける農林水産業において、その対応が必要であることから、政策分野1「(1)豊かさを実感できる力強い農林水産業の実現」の中に、気候変動に適応しながら、優れた青森県産品づくりに取り組む内容を記載しました。また、政策分野3においても、「(6)安全・安心な県土づくりを推進する社会基盤の整備」の中で、気候変動による自然災害の激甚化に対応していくことを記載しました。 |
| 5 | 政策分野1、3 | 武藤委員 | 若者の県内定着を考えた場合に、仕事をしながらでもスキルを得られる環境づくりを充実させる必要があるのではないか。 | 政策分野1「(2)地域経済の成長を支える県内産業の競争力強化」の中に「デジタルスキルの習得などリスクリングの促進」を記載し、政策分野3「(1)元気な地域づくり・人づくり」の中に「社会人の学び直しやリカレント教育の推進」を記載しました。 |
| 6 | 政策分野1、2 | 佐藤委員 | キャリア教育について、職業だけでなく、将来の生き方という観点で、県民と連携して、内容の充実を図っていくべきではないか。 | 主に政策分野2「(2)あおもりの未来をつくるこどもたちのための学校教育改革」の中に、小・中・高等学校から大学等、そして就職までのつながりや将来の生き方を意識したキャリア教育の充実を図っていくことを記載しました。 |

「第1回あおもり創生総合戦略有識者会議(令和5年12月21日)」での主な意見等への対応

| No | 項目 | 委員名 | 意見等 | 対応 |
|----|---------|------|--|---|
| 7 | 政策分野1、2 | 丹羽委員 | 若者の県内定着を考える上で、これまでの高校生におけるインターンシップに加えて、中学生に対して、もっとアプローチしていく必要があるのではないか。 | 主に政策分野2「(2)あおもりの未来をつくるこどもたちのための学校教育改革」の中に、中高生など若者の就業意識の醸成など、「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育を進めていくことを記載しました。 |
| 8 | 政策分野1、2 | 野口委員 | 大学生のインターンシップを実施する企業や自治体が少ないと感じる。県内外の大学に進学する県内進学校の生徒に、本県をより良くするきっかけを持ってもらうようなインターンシップがあってもよいのではないか。 | 政策分野1「(3)若者を惹きつけるしごとづくり」の中に、県内企業における大卒者等の採用拡大を促すことや、政策分野2「(2)あおもりの未来をつくるこどもたちのための学校教育改革」の中に、高校生等に将来の生き方を意識したキャリア教育の充実を図っていくことを記載しました。 |
| 9 | 政策分野2 | 角濱委員 | 政策分野2の名称について、「こどもの健やかな成長、健康づくり」だと、こども限定で健康づくりを進めるように見えないか。 | 政策分野2の名称について、「こどもの健やかな成長、健康づくり」を「こどもの健やかな成長、県民一人ひとりの健康づくり」にしました。 |
| 10 | 政策分野2 | 西川委員 | 出生数が減少している状況を踏まえ、引き続き、出会いや結婚についても取り組んでいく必要があるのではないか。 | 政策分野2「(1)希望と喜びを持って子育てできる環境づくり」の中に、男女の出会いをサポートする体制の充実や結婚マッチングシステムの効果的な運用に加え、関係機関と連携した結婚から子育てまでの一貫した支援体制づくりに取り組むことを記載しました。 |
| 11 | 政策分野2 | 角濱委員 | 医療従事者の働き方改革や業務省力化に向けたDXの推進を図っていく必要があるのではないか。 | 政策分野2「(5)持続可能な地域医療サービスの整備」の中に、医療従事者がワーク・ライフ・バランスを保ちながら、安心して勤務できる環境づくりに加え、デジタル技術等を活用した医療業務の省力化を推進していくことを記載しました。 |
| 12 | 政策分野2 | 佐藤委員 | 医療や学校における働き方改革に向けた内容を盛り込むべきではないか。 | 政策分野2「(2)あおもりの未来をつくるこどもたちのための学校教育改革」の中に、学校における働き方改革を推進することや、「(5)持続可能な地域医療サービスの整備」の中に、医療従事者が安心して勤務できる環境づくりを推進していくことを記載しました。 |

「第1回あおもり創生総合戦略有識者会議(令和5年12月21日)」での主な意見等への対応

| No | 項目 | 委員名 | 意見等 | 対応 |
|----|---------|------|---|--|
| 13 | 政策分野2 | 武藤委員 | 子育てもしごと両方できる環境づくりに向けた内容を盛り込むべきではないか。 | 主に、政策分野2「(1)希望と喜びを持って子育てできる環境づくり」の中に、子育てと仕事の両立に向けて、あらゆる職場・職種における働き方改革やワーク・ライフ・バランスの推進、就労環境の改善に取り組むことを記載しました。 |
| 14 | 政策分野2 | 佐藤委員 | 「学習に関心・意欲を持つこどもの割合」に関する指標について、学習指導要領も変わったので、全国平均との比較など、内容を見直しても良いのではないか。 | 政策分野2「(2)あおもりの未来をつくるこどもたちのための学校教育改革」のKPIとして設定した「学習に関心・意欲を持つこどもの割合」については、現状で全国平均より高いことから、高水準の維持に向けて、高い目標値で設定しました。 |
| 15 | 政策分野2、3 | 三上委員 | 「つどいの場」の指標について、高齢者に加えて、こどもの居場所という視点で、政策分野2にあるべきではないか。 | 「つどいの場」については、今回、こどもも含め、高齢者等が安心して暮らす共生社会の実現という視点で、政策分野2において、「『つどいの場』の参加率」という指標を設定しました。 |
| 16 | 政策分野3 | 野口委員 | 移住者の受入に関して、空き家事情は、地域(市町村)が一番詳しいと思われるが、地域の協力という部分について、数値目標を設定できないか。 | 今回、政策分野3において、「『空家等対策計画』を策定した市町村の割合」という指標を設定しました。 |
| 17 | 政策分野3 | 角濱委員 | 居場所づくりについて、高齢者が集まっている中に、若い世代が入ったりだとか、多世代が交流できるような受皿を作って、それをKPIとして設定できないか。 | 「つどいの場」として、今回、こどもも含め、高齢者等が安心して暮らす共生社会の実現という視点で、政策分野2において、「『つどいの場』の参加率」という指標を設定しました。 |